

第1学年2組 国語科 学習指導案



1 単元の構想  
すきなところを見つけよう「スイミー」

<p>児童の姿 単元終了時の</p>	<p>自分の体験や知識と結び付けながら読んだり、なりきったりすることで、登場人物がどんな経験をし、どんな気持ちでいるのか想像を広げて自分なりの思いを持っている。 自分なりに心ひかれるところを見つけ、理由を考えて伝え合ったり、思いを音読に生かしたりすることで、新しい「スイミー」の魅力に気づき、読む楽しさを感じている。そして、今後の主体的な物語の読みにつなげていこうとしている。</p>		
<p>単元の目標</p>	<p>〔知識及び技能〕 ① 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク</p>	<p>〔思考力、判断力、表現力等〕 ①文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持っている。C(1)オ ② 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ ③ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 A(1)ウ</p>	<p>〔学びに向かう力、人間性等〕 ① これまでの学習や経験で気づいたことやできるようになったことを生かして見通しを持ち、積極的に、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、お話の好きなどを伝え合ったり演じたりしようとしている。</p>
<p>目標に向かうための手立て</p>	<p>【子どもが自然と「考えたい!」「話したい!」と思えるように…】 指導者の作成した例を見せて、「心に残ったよカードを作って、6年生に伝えよう。」という単元のゴールを設定することで、毎時間の「心に残るところ」を見つけようとする意欲につなげていく。揺さぶりや問い返しを行うことで、新たな問いを引き出したり子どもたちの体験を想起させたりして、子どもたちの「考えたい」意欲が持続できるようにする。 【「楽しかった。」だけで終わり、学びの残らない授業としないために…】 少人数での対話の時間には、インタビュー形式で心に残ったところの理由等を掘り下げることで、自分の考えをさらに深める時間にしたい。また、「カード作りの活動」だけで終わらず、学びを残すために、単元の初めと終わりに「心に残るところ」を書かせ、自己の変容を感じられるようにする。ポートフォリオとして毎時間の「心に残ったよカード」を残していくことで、学びの足跡を実感できるようにする。</p>		
<p>児童の実態</p>	<p>「おとうとねずみチロ」の音読の学習では、ほとんどの児童が語のまとまりについて意識していた。読み方を工夫している児童は9人ほどであった。</p>	<p>「すきなおはなしはなにかな」では、学習した全員がお話のすきなところを見つけることができた。しかし、自分の体験と結び付けて感想を書くところまではいたっていない。「おとうとねずみチロ」では、人物の気持ちを想像した</p>	

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>① 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想を持っている。 ② 「読むこと」において、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像している。 ③ 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄に応じて声の大きさや速さなどを工夫している。</p>	<p>① 積極的に、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、お話の好きなどを伝え合ったり音読したりしようとしている。</p>

指導と評価の計画（12時間取り扱い 本時 6/12）

課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
「心に残ったよカード」を作って、6年生に紹介しよう。	1	1	○既習の物語文を振り返り、「心に残るところを見つける」という本単元の学習課題をつかむことで、単元の学習の見通しを立てる。	【主】 発言・観察・ノート
		2	○不思議やはてな、心に残ったところについて、初発の感想を書く。	
	2	3	○大まかな流れをつかみ、登場人物を確かめる。	【主】 発言・観察・ノート 【思】 発言・観察・ノート 【知】 発言・観察・ノート
		4	○物語の心に残るところを見つけるために、それぞれの場面を想像しながら読む。	
		5	・場面1 きょうだいたちと楽しく暮らすスイミー	
		6	・場面2、3 恐ろしいまぐろがきょうだいたちを食べてしまい、ひとりぼっちで泳ぐスイミー	
		7	・場面4（本時） すばらしいものに出会うスイミー	
		8	・場面5 小さな魚のきょうだいたちと出会う	
		9	・場面6 みんなで泳ぎ、大きな魚を追い出す	
		10	○物語全体から心に残った場面を見つけて、その理由を考え、まとめる。	
		11	○レオ・レオニの絵本の中から、心に残ったところとその理由を書く。	
	11	○心に残ったところと理由を6年生に紹介する。		
3	12	○単元で付いた力を振り返る。	【主】 発言・観察・ノート 【思】 発言・観察・ノート	

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

スイミーが見つけたものの様子を具体的に想像しながら読むことで、4場面の感想を持つことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ICT機器等
導入	5	○前時を振り返り、本時のめあてを共有する。	○前の時間に心に残ったのはどこですか。 ○スイミーは、ずっとかなしいままかな。	○ひとりぼっちになったスイミーの様子を振り返る。	
	どうして、スイミーは元気をとりもどしたのだろう。				
展開	15	○本時の場面を音読し、「すばらしいもの」や「おもしろいもの」を確認する。	○スイミーはどうして元気になったの。 ・すばらしいもの、おもしろいものを見てだんだん元気をとりもどした。 ○すばらしいもの、おもしろいものって何。 ・にじいろのゼリーのようなくらげ。 ・水中ブルドーザーみたいなせえび。	○揺さぶりや問い返しを行うことで、具体的に想像したり、「考えたい」意欲を継続したりできるようにする。  ○実感しながら読めるように、動作化を取り入れたり、体験を想起させたりする。	・海の中の生き物の挿絵 ・タブレット
	15	○4場面の心に残ったところとその理由を書いて、伝え合う。	○この場面で心に残ったところはどこですか。そのわけも言いましょう。 ・にじいろのゼリーのようなくらげ。もし自分がスイミーだったら、きれいなものを見てわくわくするから。 ・うなぎ。もし自分がスイミーだったら長すぎてびっくりしてしまうから。	○ロイロノートで提出し、友達同士、比べられるようにする。 ○「もし自分がスイミーだったら」という形で体験を想起できるようにする。 ○対話を通して、さらに考えが深められるようにする。  ◎【思】 文章の内容をふまえて、感想を持っている。	
	5	○心に残ったところを想像しながら音読をする。	○心に残ったところをしっかりと想像しながら読みましょう。	○音読の仕方について意識しながら読ませる。	
終末	5	○本時の学習について振り返り、次時の学習につなげる。	○もうスイミーは元気に楽しく暮らせるのかな。	○本時について振り返り、新たな問いにつなげていく。	

